



FiDA 2100m シリーズ

光ファイバーデジタルスピーカー

マニュアル

Tuned up by Plank **NyX5**[®] technology.

目次

素早く設置する説明	4
一般的な説明	5
初めから開包装内容を検査する始する	5
一般的な接続	6
システムセットアップ	7
.....	7
FiDA2100m 置く場所を選ぶ	8
光ファイバーデジタルスピーカー置く位置を選ぶ	9
FiDA2100m 置く位置を選ぶの注意点	9
ケーブルと繋がる	10
電源と繋がる	11
操作	13
FiDA2100m 光ファイバーデジタルスピーカーの操作	13
参照	15
FiDA2100m 光ファイバーデジタルスピーカーのケア	15
トラブルシューティング	16
技術情報	18



Content copyright © 2005 Plank Optoelectronics Inc. Design Copyright © 2005 Cheng, Tsung-ming. All rights reserved. No part of this user's manual may be reproduced or transmitted in any form or by any means,

FiDA® and NyX5® are registered trademarks of Plank Optoelectronics Inc. All other logos and trademarks in this manual are property of their respective owner. Content Copyright (c) 1996-2005 by Plank Optoelectronics Inc. No use without permission.

素早く設置する説明

Step 1



Step 2



Step 3



Step 4,5,6,7



1. プレイヤー或いはゲームデバイスのオプティカル出力コネクタをオプティカルケーブルで FiDA2100m 奥の I/O パネルの“OPTICAL”端子に(Toslink)接続。
2. プレイヤーデバイスのステレオコネクタをステレオケーブルで FiDA2100m 奥の I/O パネルの“STEREO”端子に接続。
3. AC 電源コードを FiDA2100m とコンセントに接続し、パワーLED がレッドになります。
4. “VOL” チューナーを押し FiDA2100m をオンして、パワーLED がグリーンになります。
5. “VOL” チューナーを音量が適当まで調整します。
6. “XBASS” チューナーを押しで、サブウーファースのオン/オフします。
7. “XBASS” チューナーを低音が適当まで調整します。
8. 音楽を聴く時 FiDA2100m のユニークなハンドルで Fida2100m を適当的な位置まで移して下さい。

Note 1. FiDA2100m を初めて使用の場合、全部の入力コネクタを接続してから電源のオンをするようにして下さい。

Note 2. FiDA2100m は防磁化処理されて磁気の保存メディアをすぐ壊さないのに、磁気の保存メディアを FiDA2000 の上或いは側に置かないようにして下さい。

Note 3. オプティカルシグナルは FiDA2100m の優先放送なので、もしオプティカルシグナルとステレオシグナル同時に入る場合オプティカルシグナルは優先放送されます

一般的な説明

始め

PLANKのファイバーデジタルスピーカーFiDA2100mを買って頂いて誠に深謝致します。FiDA2100mは世の中初めてNyX5[®] (Numeric yorking Cross-check during 5 speakers)を使用、最先進の全デジタル化ステレオ設計観念を導入した小形のスピーカーシステムですが、デジタルオーディオやビデオゲーム或いは他のパーソナルエンタテインメントのオーディオインパクトを楽しむために必要とされる優れた十分なデジタル化音響のパフォーマンスを提供します。

S/PDIF オプティカルと PCM デジタルオーディオシグナルの処理技術を利用し、FiDA2100m スピーカーは様々な音楽、DVDからのリアリズム・サウンドトラックおよびゲーム・オーディオからの3D結果用の自然な防音スタジオに改善された幅が供給出来ます。実際、FiDA2100mは単一のユニットからプレミアムHi-Fiスピーカー・システムのパフォーマンスを提供出来ます。

FiDA2100mの含み：

- 木質の2.1チャンネルスピーカー
- Toslink-Toslink ファイバーケーブル
- ステレオケーブル
- Stereo to RCA アダプター
- Toslink to Mini-Plug アダプター

"SPDIF", Sony/Philips Digital Interconnect Format, is a system for carrying stereo digital audio signals between various devices and stereo components. S/PDIF is primarily used with CD players (and DVDs playing CDs), and it is becoming common on other audio components like MiniDisc and modern computer audio cards. It is also popular in car audio, where the former mess of wiring can be replaced with a single fiber optic cable, which is immune to noise. S/PDIF was developed from a standard used in the professional audio field, known as AES/EBU which is commonly used in DAT systems. S/PDIF remained identical at the protocol level, but changed the physical connectors from XLR to either electrical RCA jacks or optical TOSlink, both of which cost less and are easier to use. S/PDIF is, for all intents, a consumer version of the AES-EBU format.

"Sony" and "Philips" are trademarks of the respective owners.

一般的な接続



FiDA2100m[®]光ファイバーデジタルスピーカーはオプティカルシグナルとステレオシグナル二つ入力端子を設計しており、様々なプレーヤーと繋がることは出来ます。オプティカルシグナル出力を持つゲームプレーヤー、DVDプレーヤーとパソコン等はオーディオオプティカルケーブルで FiDA2100m[®] と繋がります。オプティカルシグナル出力を持たないMP3、CDプレーヤー等はステレオケーブルを使って繋がることも出来ます。FiDA2100m[®]は NyX5[®]技術を使っている為、どちらとも優良な音質が楽しめます。

システムセットアップ

包装内容を検査する

注意深くシステムの包装を解いてください。パッキング材料をすべて保存して下さい。将来システムを輸送する時これらのパッキング材料最も安全な方法を提供します

- ✖ **警告：** 窒息の危険を回避するためには、ビニール袋を子供の手が届かないようにしてください。

システムのいずれかの部分が破損されたように見える場合は、それを使用しないでください。すぐ **Plank** 或いは **Plank** の販売店に通知してください。コンタクトウィンドウは **Plank** のウェブサイトを参照してください。 <http://www.plank.com.tw>

ご購入のシステムが図 1 の中で示される部分を含んでいると確信するためにチェックしてください。

- ① **注意：** 包装内容を検査した後、アフターサービスの為に商品のシリアル番号をメモして下さい。

図 1 :

パッケージの内容:

- FiDA2100 スピーカ
- 1 オーディオオプティカルケーブル
- 1 ステレオケーブル
- 1 ステレオ RCA アダプター
- 1 Toslink/Miniplug アダプター
- 1 AC 電源コード



システムセットアップ

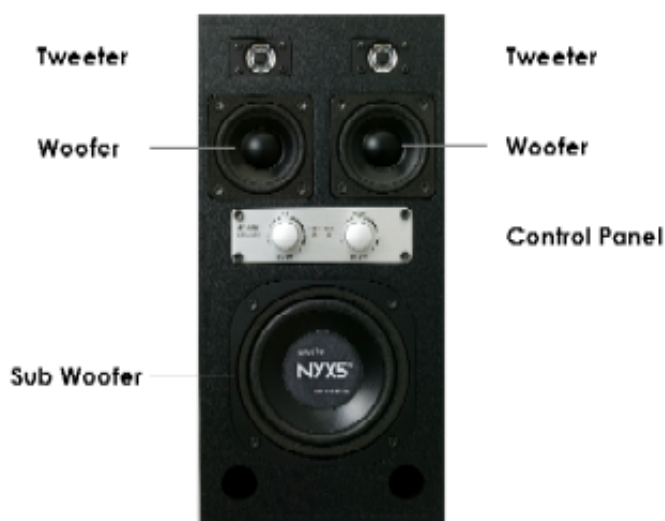
FiDA2100 の位置を選び

スピーカーの位置を選ぶために次のガイドラインを使用してください。これらのガイドラインは最良のシステム性能を保証するために提示されていますが、より便利で、楽しむ音を提供する他の配置変化を見つけてもよい。

スピーカーの位置を決める

FiDA2100m はフロント及びリア二つパネルがあります。リアパネルは I/O パネルで、音源接続およびヘッドホーン出力を含んでいます。フロントパネルはコントロールパネルで、ユーザーはこのパネルにあるボリュームでスピーカのオン/オフ、音量とサブウーファの調整とミュートすることが出来ます。

図 2 :
FiDA2100
なパーツ



他のコンポーネント、例えば MP3 プレーヤー、DVD プレーヤー、ビデオゲーム・コンソール、ラジオ・チューナー、VCR あるいはコンピューターのケーブルがリア・パネルに直接接続するだろうということを覚えておいてください。従ってこれらのケーブルがスピーカに届けることがよくご確認下さい

⚠ **警告:** FiDa2100m を置く際に、DVD プレーヤー或いは他の設備の上のどんな換気開始も閉鎖することを回避して下さい

① **注意:** スピーカーを付ける表面が水平であることを確かめてください。

システムセットアップ

スピーカーを置く

FiDA2100m を適当な位置に置くと仕事人の極める技で出した音質を楽しめます。

- 必ずスピーカーを聞くエリアの方に向いて下さい。それは最も広い聞くエリアをカバー出来ます。
スピーカーの置くところはこの聞くエリアを超えるならばスピーカー全体的な効果に影響が出る可能性があります
 - 書棚あるいはホーム・エンターテインメント・ユニットを使用している場合は、その棚の先端にスピーカーを置いてください。
スピーカーを囲まれたスペースでもっと後ろに置くと、音の全体的性能を変更することができ、パフォーマンスも変更されることが出来ます。
 - 平らな表面にスピーカーを置いている場合は、必ず底表面へ小さなゴム足を付けて下さい。
- ⚠ **警告:** 普段スピーカーはに平面に置かれます。でも大理石、ガラス或いは高度に磨き上げた板のような滑らかな表面で、スピーカーを移動させることが有ります。必要としたならば、滑り難いゴム足を追加して下さい。
- ① **注意:** このスピーカーは磁気保護処理をしたので、テレビや CRT モニターに近くなっても妨害が防げます。
- 一般的に、テレビか CRT モニターの端から **3 フィート(1 メーター)**以内にスピーカーを置いてください。しかしゲームマシンの場合、スピーカーをゲームマシンに近く置いたほうが良いです。
 - **FiDA** スピーカーのツイーターをほぼあなたの耳と同じ高さで維持して下さい。

FiDA2100m の位置を選ぶの注意

FiDA2100m は動かしやすく為の **2.1** のチャンネル音ブースター・システムとデザインされます。従って好きな所ならどこでも置くことができます。

選ぶ置く所の安全性と便利性を確かめ

スピーカーを便利(プレーイングデバイスと一緒に)の上、ベンチレーションため充分空間もある所に置いてください。

システムセットアップ

FiDA2100m を平面に置く:

- AC パワーコンセントの近く
- オーディオ機器から 9 フィート(3 メートル)以内の場所
- 部屋の LCD テレビ或いは他のプレーヤー装置と同じ端に
- スピーカへの妨害を防ぐ為に他の電気装置から 1 フィート(0.3M)までの範囲には置かないで下さい

- ⚠ **警告:** FiDA2100m は磁気保護処理をして貰ったのにまだ磁界が生成出来ます。これはすぐビデオテープやオーディオテープやフロッピーディスクなどの磁気メディアに影響出ないのに、上記の磁気メディアをスピーカに或いはスピーカ付近の場所に置かないようにして下さい

必ず:

スピーカを壁の方へ向かうと低音の効果が増加します、でも壁からの距離は 2 インチ以上離れてください。

スピーカを横にならない、又逆立てないようにして下さい。

- ⚠ **警告:** スピーカの正面の二つ孔を閉鎖しない、それはサブウーファースの換気を提供する孔です。

自由自在で音楽を楽しめる

FiDA2100m 光ファイバーデジタルスピーカは動く易い、オプティカルケーブルに繋がると部屋の何処に持って行っても素晴らしい音質を楽しめます。

システムの接続

FiDA2100m に付いているケーブルを I/O パネルにつけたら、快速接続が簡単に出来ます。

- ⚠ **警告:** 初めてスピーカをスタートの場合、全部のソースコンポーネントが接続された後に AC パワーをオンにして下さい。

下記のステップの通りにコネクションをして下さい

オプティカルケーブルの Toslink 端子を FiDA スピーカの I/O パネルに接続します。

システムセットアップ

図3

オプティカルオーディオケーブルを I/O パネルにつけます



ステレオオーディオケーブルのコネクターを I/O パネルの”Stereo”ジャッキに接続します。

図4

ステレオケーブルを I/O パネルにつけます。



- ❶ 注意：もっと長いオーディオファイバーケーブルを購入の場合、プランクとコンタクトして下さい。プランクのウェブサイト：<http://www.plank.com.tw>
- ❶ 注意：FiDA2100m は、オプティカルとステレオ二つのソースインプットがあります。もし二つインプットでもを接続していたら、オプティカルオーディオソース(S/PDIF)が最優先になるので、スピーカはオプティカルのシグナルを放送します。
- ⚠ 警告：FiDA2100m は Dolby Digital、DTS と THX でコーディングをサポートしないので、オーディオソースは S/PDIF 或いは PCM の形式に設定して下さい。詳しい設定について、オーディオソースのマニュアルを参考して下さい。

推奨接続

光学のオーディオ再生(最近多くの DVD プレーヤー、コンピューターおよびゲーム・コンソールの上の大きな特徴)については、私たちが FiDA2100m にあなたのオーディオ装置の光学の出力からの光ケーブルを接続することを推奨します。

MP3 プレーヤー、ウォークマンやコンピューターや CD プレーヤーのような光学の出力のないデジタル・オーディオ設備については、「ステレオ」入力用ジャッキに接続したほうが理想です。

システムセットアップ

上述のアドバイスの通りにするのは、様々な AV 設備の顕著なデジタル・オーディオパフォーマンスを楽しむ最も効率的な方法です。

- ① **注意:** アナログのオーディオソースを使用するつもりだったら、光学のコネクターのプラグを抜いてください。

パワーの接続

電源コードの小さいコネクターをスピーカの後部の下側にある AC インプットジェッキに挿して、電源コードの大きいコネクターをコンセントに挿してください。(Figure 5.)

図 5
パワーコードの接続



電源入れると FiDA2100m のパネルパワーLED がレッドになります。音量ボリュームを押すと LED が緑になった後、音量ボリュームで音量を調整して下さい。(図 6)

図 6
コントロールパネル

Power ON / OFF
&
Volume Control



XBASS ON / OFF
&
Level Control

システム操作

FiDA2100m 光ファイバーデジタルスピーカーの操作

- ① **注意**：AC 電源コードは必ず AC パワー・ジャッキに挿さされていて、AC パワーもコンセントに挿されていることを先に確認してください。
- システムをつけるためには、スピーカーのコントロールパネルの音量ボリュームボタンを押してください。これは FiDa2100m をオンして、スピーカーに接続しているオプティカル或はアナログのソースを放送することが出来になります。
- オプティカルオーディオは最優先放送のソースですが、もしアナログのソースを放送したいならば I オプティカルの接続を抜いて下さい。
- 音量の調整はデジタルタイプ、コントロールパネルにある VOL ボリュームを右回りと左回りに回転させて下さい。
- サブウーファーの調整するのは、コントロールパネルにある XBASS ボリュームを右回りと左回りに回転させて下さい。
- コントロールパネルにある XBASS ボリュームを押したらサブウーファーがオフになります。
- コントロールパネルにある VOL ボリュームを押したらシステムがオフになります。

スピーカをつけ

もしパワーコードがちゃんと接続されていたら、コントロールパネルにあるレッド LED が光になり、VOL ボリュームを押すとシステムはオンになり、グリーン LED はグリーンになりました。

インプットソースのチェック

もしオプティカルソースが接続されていて或はアナログのインプットジャッキが接続されていると検知されたらブルーLED は光になりました。

音量ボリュームの操作

音量を調整する場合 VOL ボリュームを回して下さい。右回りは音量を大きくなり、左回りは音量小さくなります。このボリュームは新デジタル電子コンポーネントです。ボリュームが回られたらコントロールのシグナルを生成し、このシグナルで FiDA2100m を命じます。ボリュームの回転終了点はありません。

サブウーファーボリュームの操作

サブウーファーを調整する場合 XBASS ボリュームを回して下さい。右回りは強くなり、左回りは弱く出来ます。このボリュームの操作は音量ボリューム操作と全く一緒です。

システム操作

ミュート

音量ボリュームを押すとスピーカはミュートになり、グリーン LED もレッドになりました。

FiDa2100m は完全にデジタル化されたオーディオ・システムです。スタンバイ・モードで非常な低い電力を消費します。電源きるとミュートは一緒のモードになります。

図 7
FiDa2100m 裏面の
I/O パネル



FiDA2100m ファイバースピーカのケア

スピーカのケアは、スピーカのエンクロージャとグリル清潔することです。

クリーニング

1. 柔軟な湿っているでスピーカーの表面を清潔してください。表面を清潔するため、柔らかい布の上でアンモニアなしの洗剤を使用することができます。
2. スピーカーの近くのどんなスプレーも使用しないでください。アルコールやアンモニア或は研磨剤を含んでいる溶剤、化学薬品は使用しないようにして下さい。
3. どんな液体をスピーカ表面こぼれないで下さい。
4. スピーカーのドライバーは特別の清潔が要りませんが、必要ならば乾燥又柔らかい塵拭きで清潔して下さい。
5. 連絡情報に関しては、ウェブサイトを参照して下さい。

<http://www.plank.com.tw>

トラブルシューティング

トラブル	トラブルシューティング
システムが全然動きません	<p>電源コードはちゃんとスピーカ裏面の下部にある AC パワージャッキに挿されているか確かめます。</p> <p>電源コードはコンセントにちゃんと挿すかと確かめます。</p> <p>オーディオソースは動いているかと確かめます。</p> <p>電源コードをコンセントから抜いて、又挿します。これはシステムをリセットします。</p>
音が出ない(アナログインプットの場合)	<p>音量を大きくします。</p> <p>ミュートになるかと確かめます。</p> <p>アナログオーディオケーブルはちゃんと FiDa2100m に接続されているかと確かめます。</p> <p>オプティカルの接続を抜きます。</p> <p>電源コードをコンセントから抜いて、又挿します。これはシステムをリセットします。</p>
音が出ない(オプティカルインプットの場合)	<p>音量を大きくします。</p> <p>ミュートになるかと確かめます。</p> <p>オプティカルソースは S/PDIF 或は PCM のフォーマットになるかと確かめます。システムは AC-3、DTS or THX というシグナルをサポートしません。</p> <p>オプティカルオーディオケーブルはちゃんとオーディオデバイスと FiDa2100m に接続しているか確かめます。</p> <p>もしオーディオデバイスはディスクプレーヤーだったら、ディスクは入っているかと確かめます。</p> <p>電源コードをコンセントから抜いて、又挿します。これはシステムをリセットします。</p>
音が曲げられます	<p>スピーカのケーブルは壊れたか、又ちゃんと接続されているかと確かめます。</p> <p>●FiDa2100m に接続している設備の出力レベルを縮小します。</p>
二つチャンネルは違う言語を再生	<p>これは唯デジタルソースにして、又このソースは一個以上の言語放送している場合に限りこの状況は生じます。ソースデバイスの言語を再設定して下さい。</p>

参照

アフターサービス

もし何かもっとサポート要る場合、Plank Customer Service に連絡して下さい。

<http://www.plank.com.tw>

ワランティ

ワランティについてご購入のシステムについているレジスターカードに載せています。必要の情報を書いてから Plank の代理店へ郵送して下さい。

アクセサリ

もっと詳しい情報或はオプティカルケーブルを購入したい場合 Plank の代理店或は直接 Plank に連絡して下さい。 <http://www.plank.com.tw>

技術情報

<p>Power Rating Full Range: 100V – 240VAC, 50 - 60Hz</p>
<p>Source Inputs Optical Digital(S/PDIF/PCM) x 1 Analog(3.5mm stereo plug) x 1</p>
<p>Signal Output Analog(3.5mm stereo plug) x 1</p>
<p>Speaker Drivers Tweeter 1.0" x 2 Woofer 2.5" x 2 Subwoofer 5.2" x 1</p>
<p>Dimension 13.8"H x 6 2/3"W x 7"D (35cm x 17cm x 18cm)</p>
<p>Frequency Response 48Hz to 20KHz</p>
<p>Power Handling RMS : 40 Watts continuous PMPO : 800 Watts</p>
<p>SNR : > 93dB PSNR, 98dB DR (Amplifier Section)</p>
<p>THD : < 1% (Amplifier Section)</p>
<p>Power Consumption at Standby Mode < 0.04 A</p>
<p>Weight Speaker : 9.90lb (4.5 Kg)</p>
<p>Finish Wood, Aluminum, Stainless Steel, Plastic</p>

MEMO

MEMO

MEMO

PLANK
DIGITAL AUDIO

Plank Optoelectronics Inc.
Digital Audio Product Division
14F-3, No.99, Sec.1, Nankan Rd.,
Lujhu Township, Taoyuan Taiwan
TEL : +886-3-2227887
FAX : +886-3-2125404
email : plank@plank.com.tw
<http://www.plank.com.tw>